











デカンショモニユメント

# 「デカボー」



第50回記念

デカンショ祭マスコットキャラクター「デカボー」を

日本六古窯の一つである「丹波焼」で制作。  
デカボーの右手甲に触ると、

丹波篠山の民謡「デカンショ節」が流れます。

丹波篠山が世界に誇る風情をお楽しみ下さい。

「デカンショ節とは」

由来については江戸中期に唄われていた「みつ節」の変形したものと  
いわれています。「みつ節」は当地方にのみ唄われていた盆踊り唄で、  
囃ことは「デッコンショ」と囃されてきました。その後、大衆的な娯  
楽として育てられ、唄い、踊り続けられてきました。特に明治以降は学  
生達によって愛唱され、ユニークな民謡としての立場を築いています。  
「デカンショ」という囃ことはの語源については、色々と言説があり、  
「デッコンショ」と囃されていたことから「トッコイショ」が転化した  
ものだという説が本当のようですが、これといった意味はなく、素朴な  
囃ことはほかなりません。

二〇〇二年八月

この建物は、大正11年11月新築上棟式を行い翌12年4月から平成4年3月まで約70年間篠山町役場として利用してきたもので文字通り丹波の都の中核機能として城下町篠山の歴史の数々を刻んでまいりました。歩兵第70連隊の兵舎にならったレンガの腰台、屋上にそびえる火の見櫓を配したモダンな洋風造りの建物は大正モダニズムの面影を今に伝え訪れる人々の目を楽しませてきたものです。

こうしたことから、篠山町では、重要建築物として未永く保存再利用するため内外装を修復し、装いも新たに「大正ロマン館」として平成5年6月3日開館いたしました。

都市と農村の交流の館として多くの人々に親しまれご利用いただければ幸いです。

篠山町役場

大正12年4月21日落成工費2万3千円  
当時を偲ばせる右書きの表看板

この建物は、大正11年11月新築上棟式を行い翌12年4月から平成4年3月まで約70年間篠山町役場として利用してきたもので文字通り丹波の都の中枢機能として城下町篠山の歴史の数々を刻んでまいりました。歩兵第70連隊の兵舎になったレンガの腰台、屋上にそびえる火の見櫓を配したモダンな洋風造りの建物は大正モダニズムの面影を今に伝え訪れる人々の目を楽しませてきたものです。

こうしたことから、篠山町では、重要建築物として未永く保存再利用するため内外装を修復し、装いも新たに「大正ロマン館」として平成5年6月3日開館いたしました。

都市と農村の交流の館として多くの人々に親しまれご利用いただければ幸いです。























小田垣商店  
お客様用  
駐車場









大森 福知山  
Mori Fukuchiyama  
250m

C7モール 福山

AUTOBAC

車検 見積無料  
予約受付中!

サイドブレーキワイパー交換  
PALETS ¥45000+

日本  
すじり

日本  
すじり

がかしん  
Gashin Bank